

南信州広域連合第9回広域連合会議 結果報告

日時：平成29年12月18日(月) 15:06～16:11

場所：県飯田合同庁舎3階 講堂

1 開 会…15:06

【出席者】13市町村長、佐藤副管理者

〔南信州地域振興局〕山本局長

〔飯田建設事務所〕坂田所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔県教育委員会高校教育課〕塩野参事・上野係長・堀内指導主事

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕関島消防長・松川消防次長・有賀総務課長

〔飯田環境センター〕田見事務長・北原事務長補佐兼庶務係長

〔事務局〕高田事務局長・塚平事務局次長・加藤事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・秋山介護保険係長・林庶務係主事

2 広域連合長挨拶

年の瀬も押し迫り、大変ご多用のなかお集まりいただき誠にありがとうございます。また本日は、県教育委員会高等教育課の皆様方にも足をお運びいただき感謝申し上げます。また県の次期5か年計画についても、南信州地域振興局から説明いただけるということを改めて感謝申し上げます。私共の地域としては、これからリニア三遠南信時代に向けて大きなプロジェクトをどうやって進めていったら良いかということを考えていかなければいけない時期に来ている。広域連合としてしっかりと役割を果たせるよう、それぞれの皆様のご尽力をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。よろしく願い申し上げます。

3 協議・報告事項

(1) 「学びの改革」について

…県教育委員会高校教育課による説明 (①～④)

- ① 新たな学びの推進として、長野県の高校教育が目指すべき方向性の位置づけについて、1つ目に、チームとして協働しながら解を見つけ、新しい価値を主体的に創造していくことができる資質・能力の育成を目指す。2つ目としては、自分の人生を構想する力（キャリアデザイン力）の育成。3つ目として、信州に根ざした確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野、資質・能力の育成。こうした高校の改革に取り掛かっている。
- ② スケジュールについて、平成29年11月に「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針(案)」をたたき台として、意見交換（地域懇談会、産業各界、PTA、中学校長会、高校長会、大学、総合教育会議）を実施していく。その後、平成30年3月に「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針(案)」を、パブリックコメント等を経て9月には実施方針をまとめて参りたい。平成31年9月には、すべての地区で「高校の将来像を考える地域の協議会」の設置を完了させたい。そして平成32年3月には「再編整備計画（一次分）」を策定、翌年には「再編整備計画」を確定したい。
- ③ 「高校の将来像を考える地域の協議会」の設置について、「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」に基づいて検討を行い、旧通学区内の将来を見据えた高校の学びの在り方と具体的な高校の配置について、県教育委員会に対して意見及び提案を行うことを想定している。協議会設置の要請に

については、県教育委員会は広域連合長たる市町村長に協議会の設置の要請をして参りたい。協議会の構成員については、市町村長、市町村教育長、産業界から選出されたものを含めていただき、それ以外の構成員は地域の実情に応じて構成するものとする。事務局は共同の事務局を考えている。最終的な意見、提案の取扱いは全県的な視野に立ち、総合教育会議での議論を経て総合的に判断して参りたい。

- ④ 方針（6項目）について、方針1：すべての高校が、これからの時代に必要とされる新たな学びに転換する。方針2：夢に挑戦できる多様な学びの場、学びの仕組みを整備充実する。方針3：新たな学びにふさわしい環境を整備する。方針4：さらなる少子化の進行に的確に対応する。方針5：多様な学びの場を全県に配置する。方針6：優先順位を定め、計画的に整備を進める。

【質疑…松島 副広域連合長】

地域の協議会で出た結論は方針に反映されるのか？

【応答…県教育委員会高校教育課】

全県的な視野で考えていくが尊重はしていきたい。

【発言…熊谷 阿智村長】

この地域は実情で少子化があるが、運動部の子供たちが私立の強豪校へ行くことも大きな要因だと思う。今回の学びの改革の中に、私立高校の意見も入っているのか？私立高校の良い面も公立高校で受け入れなければならないと思うがどうか。

【応答…県教育委員会高校教育課】

私立高校の動き等は現実の中で考えていくべきところであると思う。必要に応じていろいろな話を聞きながら、地域にとって一番良い形を取れるように検討していきたい。

【発言…熊谷 高森町長】

最近、新聞を見ていると、全県で通学が可能という見直しがされるということが載っていたが、それは今回の学びの改革と関連はあるのか？

【応答…県教育委員会高校教育課】

通学区、入学者選抜の2点については、入学者選抜制度検討委員会を開いている。来年1月に最終の会となる予定。その中で検討しているその中の一部分が新聞に載ったと思う。まだまだ結論は出ていないが、4つの大きな通学区があるが、実際には隣接している通学区は志願が出来るというのが現状のシステム。それが北信地区と南信地区は接点がないため志願をするには一家転住をするというのが現状。この前の話の中では第1と第3通学区の通学を認めればいいのではないかという意見が多かったのが事実。最終的な報告書はこれから出る。何らかの関連付けた記述にはなるかと思う。

(2) 長野県次期総合5カ年計画の地域編について

…山本 地域振興局長による説明

- ① 次期総合5カ年計画について、原案がまとまり、先週15日（金）にパブリックコメントを出したところである。市町村長の皆様には大変お世話になった。この場をお借りし感謝申し上げます。
- ② 地域の目指す姿や重点政策についてももう少しインパクトのある表現に出来ないかといったご意見をいただいた。そこでスローガンを「伝統と最先端が響き合うフロンティア南信州」に変更させていただいた。「リニア新時代の南信州地域の姿」という項目があるが、これは新たに追加したもので、4つの柱を掲げた。1. 研究開発型企業の集積地域、2. 交流の一大拠点地域、3. ICT活用教育・学びの先進モデル地域、4. 二地域居住やUIJターンの全国モデル地域ということで入れさせていただいた。

- ③ 主な修正箇所を説明。いただいたご意見を出来るだけ活かす形で修正させていただいた。現在、パブリックコメントが始まっており、2月15日まで期間がある。その結果を受け最終調整し2月県議会へ議案の提出ということとなる。ご意見等あればよろしくお願い申し上げます。

【質疑・・・佐藤 副管理者】

せっかくの機会なので3点申し上げます。産業人材の育成のところで、旧飯田工業高校の話を取り上げていただいたのは大変ありがたいが、もう一步踏み込めば信大の研究講座の話は、将来的にこの地域で大きな高等教育機関を実現させるという目標もあるので、もし可能であれば言葉としてももう少し入れられないかというのが1点。2つ目が、公民館活動のところですが、今回大きなテーマが自治と学びということで県全体の次期計画の柱となっていると理解しているが、ここで書いていただいた公民館活動というものが、地域住民の生涯学習の取り組みというようなくだりとなっているが、おそらく知事の考えで公民館活動は、この地域の自治と学びの中心拠点となっているという認識をお持ちの上で、今回のテーマを仰っているのではないかと私としては理解しているので、もう少し自治と学びという大きなテーマに繋がるような取り上げ方を公民館活動としては、書いたほうが良いのではないかと。3点目は、少人数教育の文言は削除となっているが、飯田市の教育委員会では今、上村小学校について中山間地の小規模校のモデル校にしたいという目標を持って取り組んでいる。少人数教育がICTのところだけというよりももう少し広い意味で、小規模だけれども世界に通じるような飯田市としての思いもあるので、もう少し踏み込んで取り組むというのを前提で小規模少人数教育に取り組むというのは書いて欲しいと思う。

【応答・・・山本 地域振興局長】

ありがとうございます。最後の少人数教育のところについては、ICT 活用教育・学びの先進モデル地域の中に、超高速通信回線の整備促進により、地域内の小規模校を含む全ての小・中学校でということで、一部の少人数の学校も想定したうえで反映させてもらっている。

【発言・・・佐藤 副管理者】

ICT 教育だけが小規模校の特徴という訳ではないということもあり、もう少し幅広く書ければ良いなという思いもある。

【応答・・・山本 地域振興局長】

わかりました。検討させていただきます。

- (3) 在宅医療・介護連携推進協議会について

…塚平 事務局次長による説明

- ① 飯伊圏域における医療及び介護の体制整備に係る協議の場の設置について、先月の飯田医師会と広域連合の懇談会の中で、地域包括推進特命担当理事の原先生から協議の場を設置する必要がある、是非広域連合にお願いしたいという発言がありその経過について説明させていただく。この協議の場を設置させていただくことについては、飯田保健福祉事務所が事務局となり医師会にお願いをする中でその両者が中心となって協議の場が設置されるということがすでに決定し、構成市町村の担当課長様宛にご案内が届いていることと思う。今月第1回の会合が開かれる予定。ご承知おきいただきたい。
- ② 南信州在宅医療・介護連携推進協議会について、いよいよ最終年度を迎え来年の2月12日にこれまでの取り組みの経過、さらに医療と介護の連携とは何かといった部分を併せて関係団体の皆様、さらには住民の皆様に対して、ご案内をするための全体研修会の企画をした。既に構成団体、関連の事業者にはご案内をしているが、年が明け1月に構成市町村の担当の課長様、担当の職場を通じて地域住民の皆様にご案内していただくようにチラシの作成等を行っている。改めてご案内申し上げます。

【質疑なし】

- (4) 南信運輸免許センター開設に向けた要望活動の報告について

…高田 事務局長による説明

- ① 平成29年12月8日（金）に南信運輸免許センターの開設に関する要望として長野県警察本部、長野県知事宛てに要望活動を実施させていただいた。県警本部長からは、課題があり今すぐの予算化は難しいが、知事部局とも相談しながら進めていきたいとの回答をいただいた。古田県議及び松

島副広域連合長からもご意見をいただいた。県知事からは、地域の思いは共用する、県警の移行も確認しながら対応していく。とのご意見をいただいた。

地域として考えなければならない部分はしっかりと考えなければいけないので、県警本部との連携を密にして課題等の抽出、解決に向けての協議を進めていきたい。

【質疑・・・熊谷 高森町長】

課題について、人だけの話なのか他にもあるのか感触的にはどうか？

【応答・・・高田 事務局長】

課題として整理をしているのは3点。1点目は人の手配が厳しい。2点目は施設面で駐車場 250 台の確保、周辺の道路事情のこと。3点目は施設の耐震度についての課題があるという話であった。駐車場については、産業センターが全部移転すれば確保できる。周辺の道路については、狭い部分もあるが、決定となる前までに解決をしていければと思っている。耐震度は、設計書等を見て計算をしているところだが、その様子を聞いてからと思っている。人の手配が一番大きな課題とを感じる。

【発言・・・松島 副広域連合長】

1 度や 2 度の要望活動では厳しいのではないかとという感触であった。かなり力を入れてやらないといけないのではないかと感じる。

【発言・・・熊谷 高森町長】

旧工業高校に機能が移転していく中でいつまでもあのままといい訳にはいかないのではないかと。もっと強力に要望していかなければならない。間があき人が変わるとまた 1 からということになりかねない。頻繁に県とも情報共有しながら、是非進めていかないといい感じとを感じる。

(5) 飯田広域消防から

…松川 次長による説明

年末年始を迎えるにあたり、災害が発生しやすい時期となる。年末年始警戒として、12 月 21 日から 1 月 3 日まで警戒態勢をとって参る。年末期間においては各市町村の消防団の皆様をはじめ、関係機関の皆様にお世話になるがよろしくお願ひ申し上げます。また年が明けてからは、各市町村で出初式が計画されている。よろしくお願ひ申し上げます。

【質疑なし】

(6) 後援依頼について

…加藤 庶務係長による説明

第 32 回飯田やまびこマーチ（平成 30 年 4 月 28 日）について、よろしくお願ひ申し上げます。

【異議なし、承認】

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

…山本 地域振興局長による説明

- ① 来年度の元気づくり支援金の重点テーマについて、県全域で取組を行うものとして、1. 信州こどもカフェの推進、2. 信州 ACE プロジェクトの推進、3. 地域内経済循環の拡大を掲げる。また、特定の地域で取組を行うものとして、1. 生活の足（地域交通）の確保・充実、2. 複数市町村を区域とする広域 DMO の設立促進、3. 県内高等教育機関の知の活用。地域特有の課題で重点的に取組を行うもの。1. 広域観光の推進、2. 地域の特色ある産業の振興、3. 移住・定住、若者向け U ターン就職の促進、4. 伝統芸能の継承、5. 地域防災・減災対策の推進を掲げ取り組んでいく。
- ② 保護者向け南信州就活セミナーについての説明。
- ③ 周遊ガイドマップについての説明。

【質疑・・・熊谷 阿智村長】

元気づくり支援金の補助率は去年と同じか？

【応答・・・山本 地域振興局長】

同じでございます。

(2) 飯田建設事務所
…坂田 事務所長 特になし

(3) 飯田保健福祉事務所
…松岡 飯田保健福祉事務所長
インフルエンザが流行っている。ご注意ください。

5 今後の日程について
平成30年1月15日（月） 広域連合会議

6 牧野広域連合長から
一つご提案をさせていただければと存ずる。屋内体育施設について、飯田・下伊那両体育協会から要望書をいただいたところである。ご案内の通り、事務局において屋内体育施設、コンベンション施設の整備に関して検討を進めているところである。この検討については、施設のコンセプト、あるいは施設の規模、建設主体、財源等の問題の検討等々、さまざまな検討を事務局で進めている。また飯田信用金庫でも調査研究していただいている。そうした中で本日の要望を受けて、さらに踏み込んだ検討をしていく必要があると考えるところである。こうしたものについては、実際に具体的な場所についてはそれぞれの市町村において、こういった場所があるという情報提供をしていただければと存じます。屋内体育施設、コンベンション施設どちらでも良いですし、こうした施設をどうやったら設置できるかという観点の中で、こうした土地があると情報提供をお願いしたい。両方の施設とも、平面の駐車場も考えるとおよそ3ヘクタールがそれぞれ必要になる。そうしたことも含めて考えていただきたい。3月に県知事に要望させていただき、この件については経済界からも要望していただいた経過もある。県だけで整備するようにはならない。相乗効果を発揮できるような施設にしていくにはどうしたら良いか。そうしたことを踏まえて年度内くらいまでにコンベンションアリーナについての土地情報をそれぞれの市町村で検討していただき、広域連合事務局のほうにご連絡をいただければと存ずる。こうした情報提供については、稲葉クリーンセンターで行った経過がある。検討委員会を立ち上げて、1年半程掛けて候補地の絞り込みを行い、その後地元調整、基本設計、自主設計に2年半。本体工事に2年半ということで、12月1日に竣工を迎えた。全体では6、7年掛かっている。今からそうした情報を収集して検討を進めていくというのは今くらいのタイミングかと存ずる。よろしく願い申し上げます。

7 閉会…16:11